

対象者

- 現場をマネジメントしつつ、DXを推進する立場の方
- 現状の仕事の進め方を変えることに躊躇している / 不安感を抱いているリーダーや管理職の方

BEFORE

DXとデジタル化の区別がつかない...

自組織でどんなDX施策を行えば良いか分からない...

部下やベンダーの提案に対するレビュー方法がわからない...



第2部は、貴社の課題や受講者の知識・経験にあわせて最適なテーマを提案いたします。(上記は例)

AFTER

- DXとデジタル化の違いやDXの目的、アジャイルの手法を理解することで、ビジネスモデル/組織の変革につながる大きなDXビジョンが定められるようになる！
- 現場とマネジメントの考え方の違いを理解し、不確実な状況下でも自信をもって意思決定を行い、適切なフィードバックを通じてビジネスを推進していけるようになる！

～実際にご受講された方々の生の声～

DXIについて受講前に持っていたイメージは一面にすぎず、むしろ逆転の発想であったことが面白かった。

DXIは、根本的なところへの立ち返り～仮説検証～ビジョンへ向かう方向性確認、という流れのなかで必要となる手段ということがわかった。

アジャイルを適用するには、もっと柔軟性が必要であり、長年染みついていた思考を変えていかなければならないと感じた。

※2024年3月時点 内容が一部変更になる可能性もございます。

マネジメント層向け
DXマインドセット研修 – 研修内容 –



開催人数※	最低：15名～最大：35名	
申込期限	研修実施初日 1ヶ月前	
実施期間	2.5時間	2部構成となっており、 第2部は、貴社の課題や受講者の知識・経験にあわせて最適なテーマを提案いたします。
講 師	箕輪 旭	
事前課題	あり	
費用(税別)	50,000円～ / 名 ※詳細は営業担当までお問い合わせください。	
受講環境	・PCと安定したネット回線 ※タブレットでのご受講や、VPNを接続した状態での受講は推奨しておりません。 ・ZOOMの利用 ・Google Chrome / Google Slideへのアクセス <u>(必須)</u>	
お申し込み	営業担当までご連絡ください。	

※開催人数におけるの『最低』の人数を最低催行人数とします。
※原則は、60～90分に1回程度休憩をとります。

※2024年3月時点 内容が一部変更になる可能性もございます。

第一部のワークで考えたプレスリリースタイトルをもとにした第二部のワーク

ワークシート

ロードマップをつくろう

グループ2

ToDo: 1年後、3年後、7年後のプレスリリースのタイトルと、その施策の概要を考えてください

STEP1 – 2024年

プレスリリースのタイトル

プレスリリースのタイトル
施策の概要

ヒント: STEP1は、「スケボー」をつくる段階です

STEP2 – 2026年

プレスリリースのタイトル

プレスリリースのタイトル
施策の概要

ヒント: STEP2で、ROIを意識します。

STEP3 – 2030年

プレスリリースのタイトル

プレスリリースのタイトル
施策の概要

ヒント: まずは、前ワークで考えたプレスリリースのタイトルを、STEP3に記入しましょう

※2024年3月時点 内容が一部変更になる可能性もございます。